



議会図書室からのお知らせ

今月の新着図書
R7年7月(一般用)

『地域づくりのやる気学』

山浦陽一・中塚雅也 他【編著】/農文協 (2025/3)



自治会長など地域の役職を進んでやりたい人は少なく、消極的に選ばれる人が多いのが実状。全国の事例から、住民のやる気と活動の関係を分析。誰もが地域づくりに自ら参加し、支え手になれる方法を探究した「地域づくり論」。

『「低度」外国人材 移民焼き畑国家、日本』

安田峰俊【著】/KADOKAWA (2025/4)



高度な技能、知識を期待され来日する「高度外国人材」ではなく、特別な技能や知識を持たない移民にこそ日本は強く依存していると本書は語る。群馬県で起きた「北関東家畜窃盗疑惑」についても触れつつ、移民問題に迫る。

『思春期センサー ～子どもの感度、大人の感度』

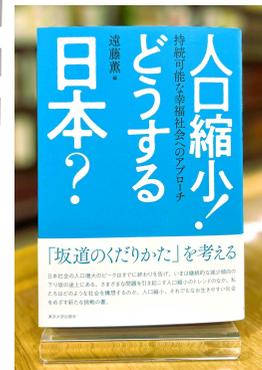
岩宮恵子【著】/岩波書店 (2025/3)



「いつメンはいるけど友達じゃない」「キャラぶりはNG」「世界中にいじめられてると知られた」など。空気を敏感に察知し友達関係に腐心する、SNSに縛られる子どもたち。臨床心理士が描き出す「今どきの思春期」とは？

『人口縮小！ どうする日本～持続可能な幸福社会へのアプローチ』

遠藤 薫【著】/東京大学出版会 (2025/4)



日本の人口は、継続的な減少傾向、つまり下り坂の途上にある。様々な問題を引き起こす人口減少の中、私たちはどのような社会を構想していくのか？ その中でもなお生きやすい社会をめざす新たな「坂道の下り方」を考える。

『生き続ける震災遺構～三陸の人びとの生活史より』

坂口奈央【著】/ナカニシヤ出版 (2025/2)



著者は震災翌年、地元放送局のアナウンサーを退職。災害社会学者となり、三陸地方を生活史の視点から調査してきた。保存か解体かをめぐる地元住民の葛藤。震災遺構に、人々はどのような意味を見いだしているのかを綴る。

『ままならぬ顔・もどかしい身体～痛みと向き合う13話』

山口真美【著】/東京大学出版会 (2025/4)



顔認知研究の第一人者である著者が、アイデンティティとコミュニケーションのジレンマに引き裂かれる「顔と身体」について、ルッキズム、ジェンダー、病や死の受け止め方など、身近な視点から考えるエッセイ。

『脳科学的に正しい！ 子どもの非認知能力を育てる17の習慣』

西 剛志【著】/あさ出版 (2025/3)



脳科学者が、幼児教育に携わる中で見えてきた、「6種類の非認知能力をUPさせる方法」を、マンガで分かりやすく解説する。家庭でできる脳科学的に正しい「非認知能力を高める習慣」とは？

『多動脳～ADHDの真実』

アンデシュ=ハンセン【著】久山葉子【訳】/新潮社 (2025/4)



クリエイティブで粘り強い。卓越した探究心や集中力を持つ。そんなADHDの傾向は、実は誰にもあると著者は語る。なぜ人類の進化で「普通とは少し違う」脳が生き残ったのか？ 生き辛さが強みに変わる「脳シリーズ」の著者の最新刊。

▶ 『雑誌特集』 ～議会図書室には、様々な雑誌も配架しています。その中から、今年度新たに購入したものを6冊ご紹介します～

新規

『ニュースウィーク 日本版』

CEメディアハウス/週刊



米国の週刊誌「ニュースウィーク」の日本版という視点から、世界情勢を冷静に分析。政治・経済からカルチャーまで、グローバルな視点で事実を掘り下げ、読み解く。また、東アジア関連の報道を強化し、日本国内メディアでは得られない情報を提供している点も魅力の情報誌。

新規

『TURNS(ターンズ)』

第一プロGRESS/季刊



日本の“地域”をテーマに「ローカルで暮らす魅力」と「地域で生きるための知恵」を紹介。群馬県の事例も数多く取りあげられている。地域や移住に関心のある人と地域をつなぐ架け橋となる雑誌。

★6月号から図書室に入ります。

新規

『自治体法務研究』

(一財) 地方自治研究機構/季刊



地方自治体における法制執務業務を支援するための総合情報誌。法制執務・政策法務に関する実務的な情報をスピーディーかつタイムリーに提供する。法制・立法に関わる方に役立つ情報を掲載。

★5月号から図書室に入ります。

『ガバナンス』

ぎょうせい/月刊



新しい地方自治の姿を模索し、地域づくりに携わるすべての読者に役立つ情報を掲載。行政改革や災害対策、地方創生、社会保障、まちづくりなど自治体の重要テーマを取り上げる。実務に役立つ仕事術も、わかりやすく紹介する。

『都市問題』

東京市政調査会/月刊



地方自治や広く都市にかかわる問題の特集し、社会に問題を提起する。タイムリーなテーマを扱う特集1とじっくりと問題を掘り下げる特集2を中心とする構成。「学問とジャーナリズム」の両面を網羅する稀有な雑誌。

『Voice (ボイス)』

PHP研究所/月刊



政治・国際問題・経済・科学・技術・教育など、現代社会問題を幅広く取り上げ、鋭く分析。日本と世界のあるべき姿を追求する。「現場感覚」と「良識」を基礎としつつ、新鮮な視点も提起する総合雑誌。